



2017年3月17日  
日本航空株式会社  
青森支店

## 羽田空港 JAL 国内線ラウンジで「弘前のさくら」を咲かせます

～青森県弘前市×JAL コラボレーション企画～

JAL は青森県弘前市とのコラボレーション企画として、日本一と称される「弘前のさくら」をひと足早く開花させ羽田空港国内線ラウンジにて3月25日(土)から31日(金)まで展示します。

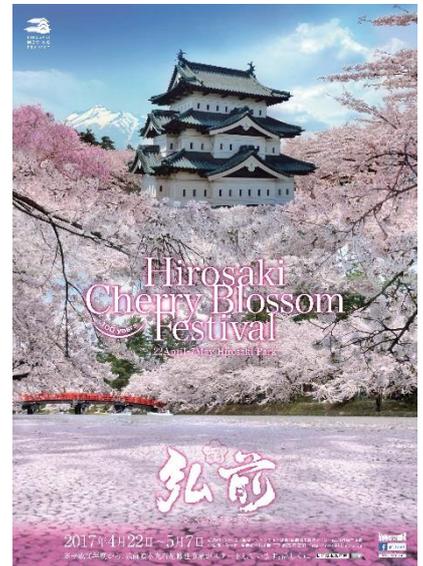
今年100年目のメモリアルイヤーを迎えます弘前さくらまつりへ多くのお客さまがご来場いただけますよう、誘客活動の一環として弘前市とJALの共同企画となります。

「弘前方式」と呼ばれる桜の管理技術のなかで剪定された桜の枝を利用し、室内で適切な温度管理をすることによって、見事な桜を咲かせることにチャレンジします。

### ■桜の展示場所と展示期間について

羽田空港 JAL 国内線ラウンジ(ダイヤモンド・プレミアラウンジ、サクララウンジ)南北計4か所。

3月25日(土)から3月31日(金)まで



### 「弘前さくらまつり」

平成29年4月22日(土)から5月7日(日)まで、青森県弘前市にある弘前公園にて開催。

URL: [http://www.hirosaki-kanko.or.jp/web/edit.html?id=cat02\\_spring\\_sakura](http://www.hirosaki-kanko.or.jp/web/edit.html?id=cat02_spring_sakura)

### 「弘前方式」と桜守について

弘前公園の桜が美しく咲く理由は、130年を超える「りんご」栽培の歴史に裏付けられた技術が引き継がれているからです。

りんご栽培での剪定と施肥、薬剤散布という3つの基本技術を桜に応用したものが弘前方式と呼ばれる管理技術です。特に、桜にはしてはいけないといわれていた剪定を用いたことが特徴です。



(桜守)



「弘前方式」と呼ばれる独自の管理技術により弘前公園内約 2600 本の桜を管理しているのが「桜守」です。現在は弘前市に「チーム桜守」が設置され、弘前市の職員でもある樹木医チームが弘前公園内の桜を管理しています。



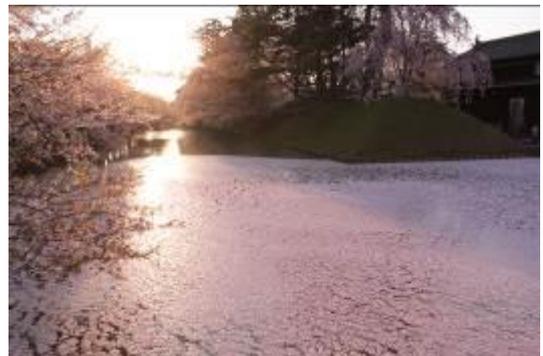
(剪定枝)



(展示イメージ)

桜守は誰よりも弘前の桜を愛し、その未来を守りたいからこそ枝を剪定します。剪定された枝は、ただ廃棄するのではなく無償で市民などに配布しています。剪定された枝は、すぐにその価値を失ってしまうものではなく、室内などで適切な温度管理をすることによって、見事な桜の花を咲かせます。

散った花がお堀に浮かぶ花筏(はないかだ)でも有名な弘前公園の桜は、チーム桜守により大切に管理されています。



(花筏)

以上

### 【お問い合わせ先】

◆日本航空株式会社 青森支店

TEL:017-773-2188

◆弘前市 広聴広報課 担当:古川(こがわ)

TEL:0172-35-1194